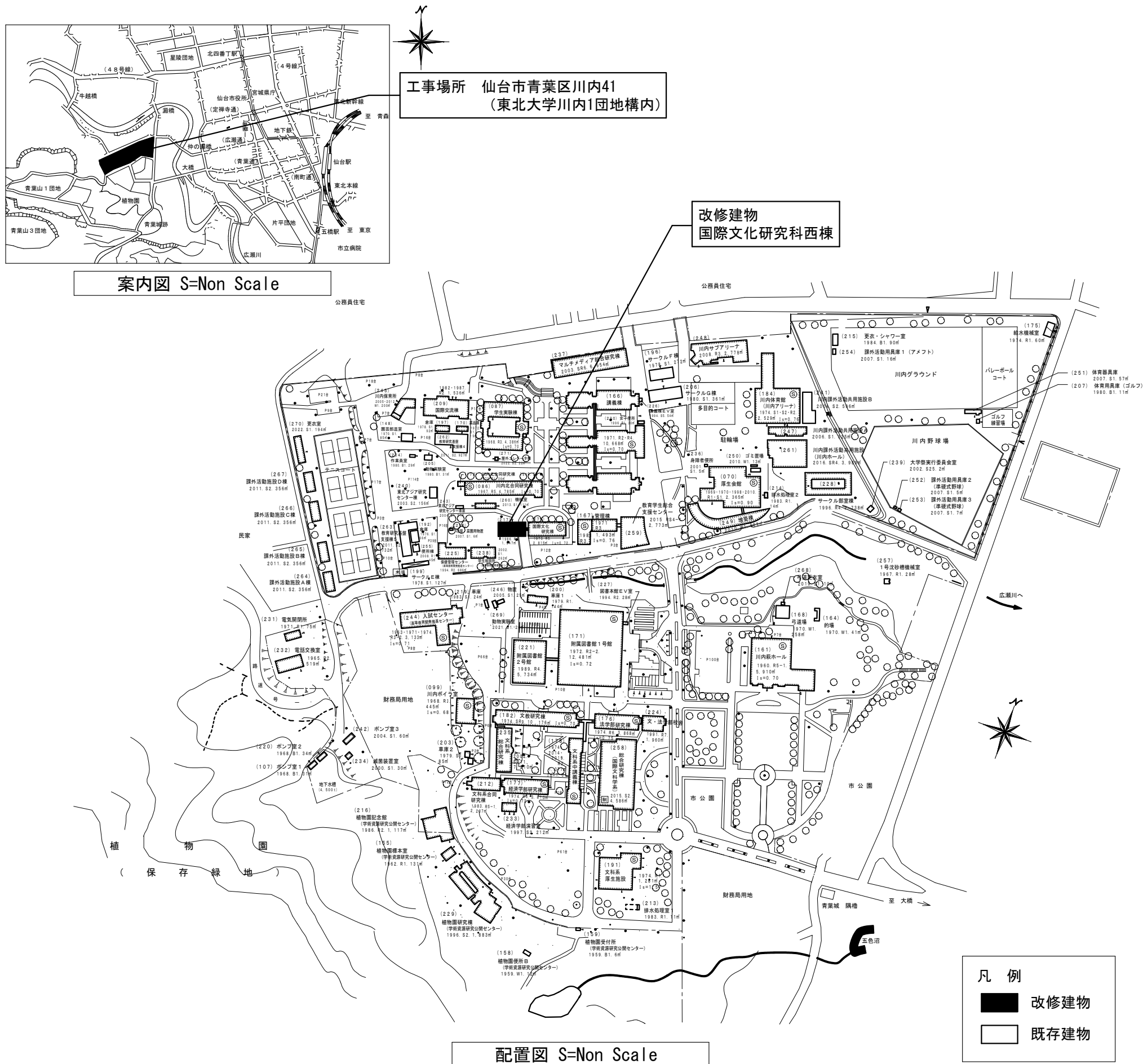




【事業概要】

- ・老朽化したライフラインや細かく分断された狭小な研究環境の改善を図る。
- ・「第5次国立大学法人施設整備5か年計画」に基づき、「共創」の拠点としての役割を果たすため、「イノベーション・commons」へと転換させる。
- ・「東北大学ビジョン2030」における「Vision1：教育」「Vision3：社会との共創」に資する国際教育プログラムや共同研究の運用にフレキシブルに対応できる研究施設の整備や国際交流の活性化を促す共創拠点の創出を整備する。
- ・NearlyZEB化を行い、省エネルギー化やカーボンニュートラルに資する施設として整備する。

【建物概要】

建物名称：国際文化研究科西棟
 構 造：鉄筋コンクリート造
 階 数：地上4階
 建築面積：439㎡
 延べ面積：1,547㎡

【工事概要】

工事場所：宮城県仙台市青葉区川内41
 (東北大学川内1団地構内)

完成期限：～令和6年3月29日

工事内容

- ・防水改修（シート防水(断熱工法)）
- ・外部改修（外壁、軒天、建具等改修）
- ・内部建具改修
- ・内装改修
- ・環境配慮改修（硬質ウレタンフォーム吹付）
- ・外構改修（アスファルト舗装、スロープ新設等）

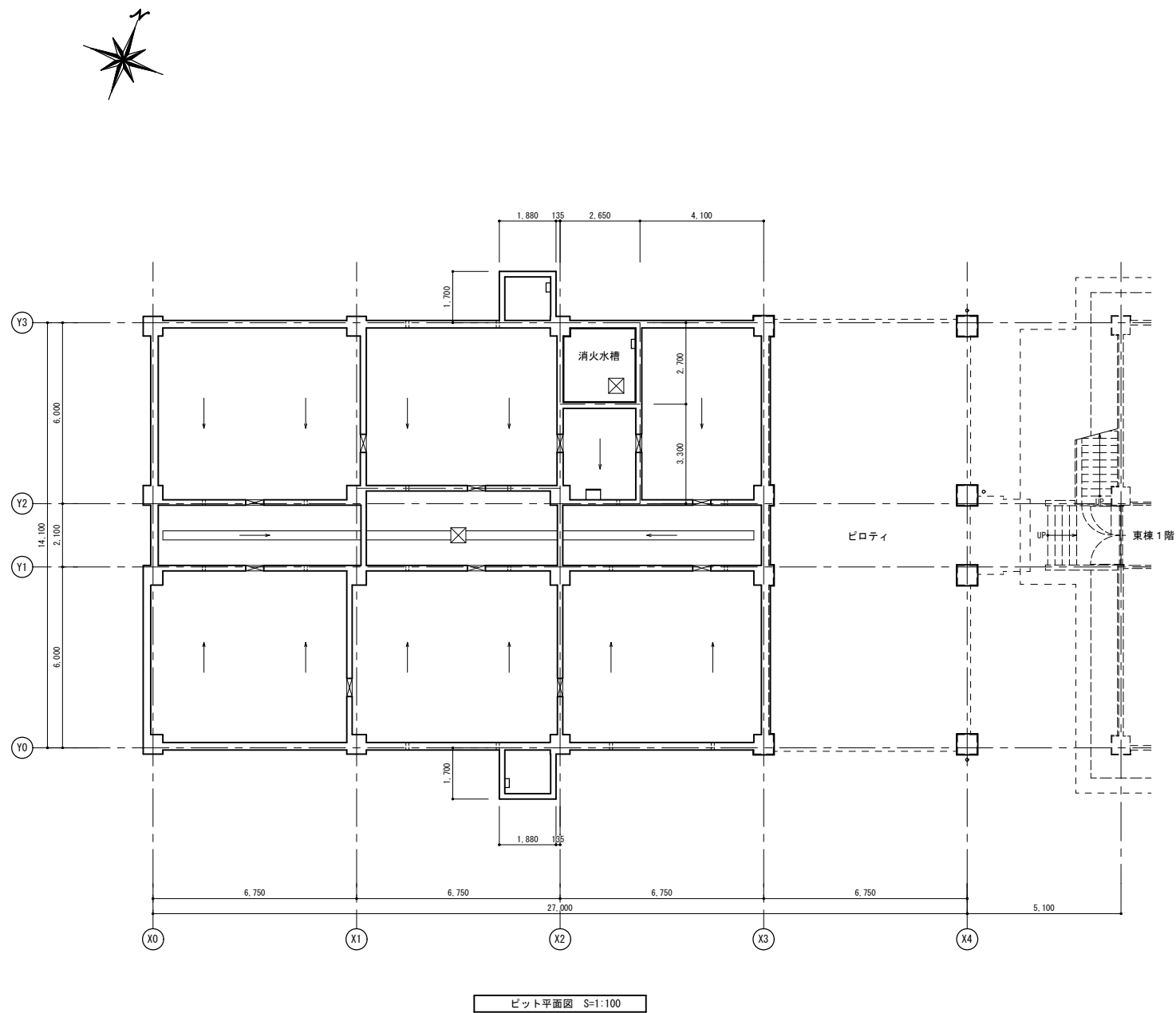
【別途工事】

電気設備工事 一式
 機械設備工事 一式

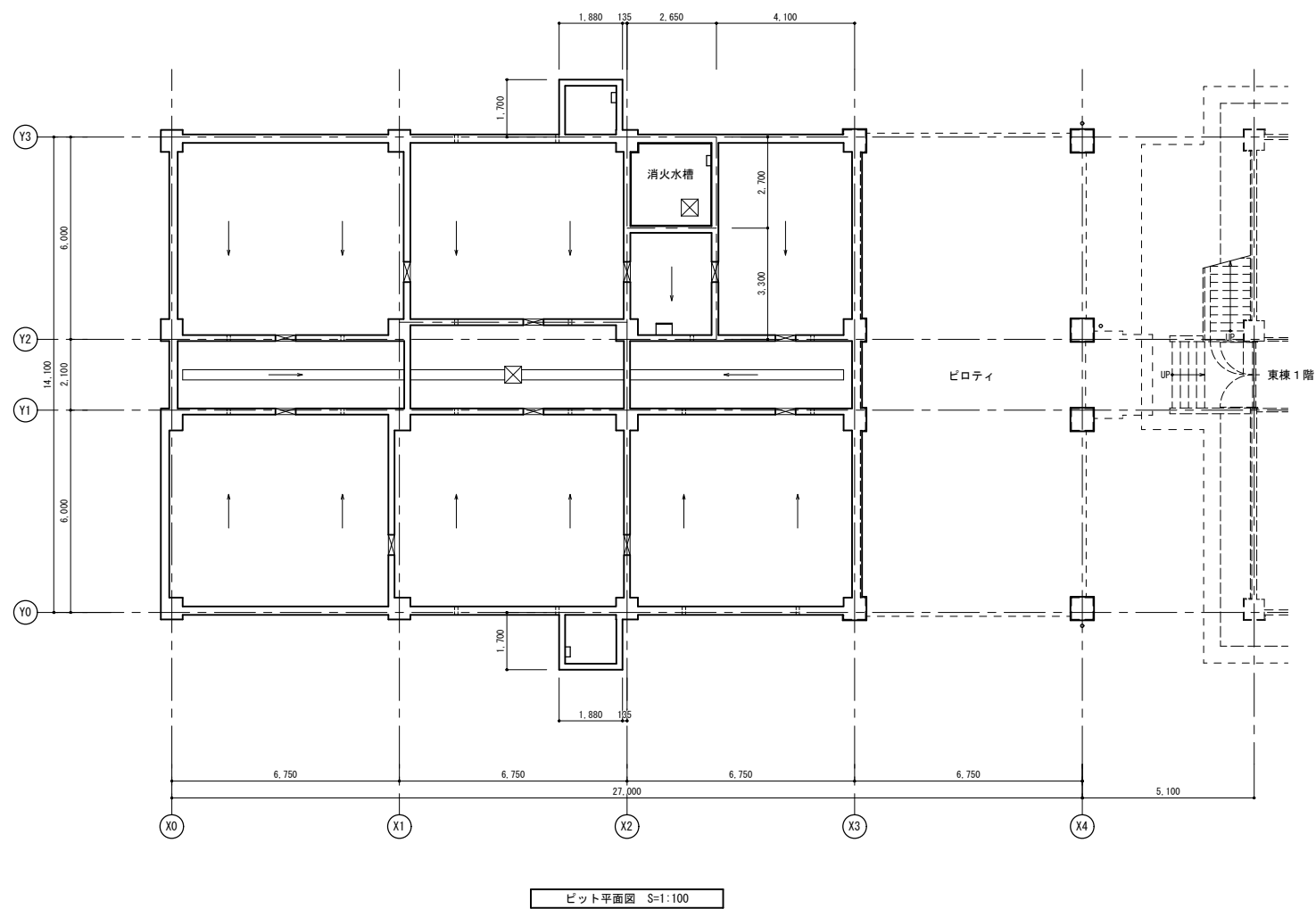
【施工条件】

- ・工事期間中、大学行事及び入試等により工事の中止（予定日数10日程度）及び騒音・振動作業の発生に対する制限がある。具体的な日時については監督職員との協議による。
- ・停電、断水及び通信不通を伴う作業を行う場合は、監督職員と協議の上、作業計画書を提出し、作業開始日の1ヶ月以上前に承諾を受けること。
- ・本工事現場は埋蔵文化財包蔵地のため、文化財保護法の規定による制限を受けており、切り土・根切り等の掘削作業は、東北大学埋蔵文化財調査室による立会を受け、その指示に従って施工することとし、受注者は工程表、施工計画書を着手の2週間以上前に監督職員に提出し、承諾を受けること。また、文化財保護法の規定により必要となる工事写真、図面等の提出は監督職員の指示によるものとする。

改修前



改修後



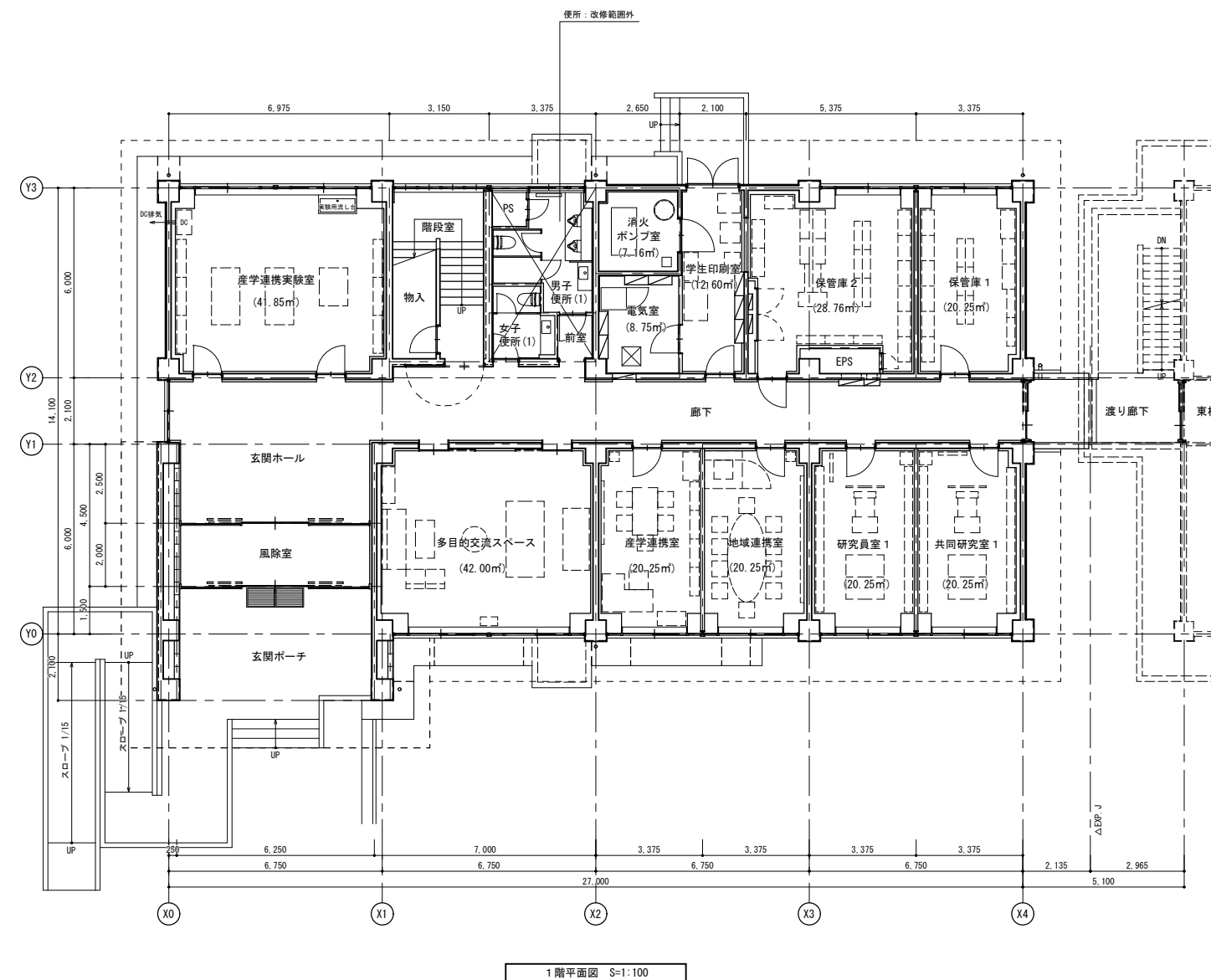
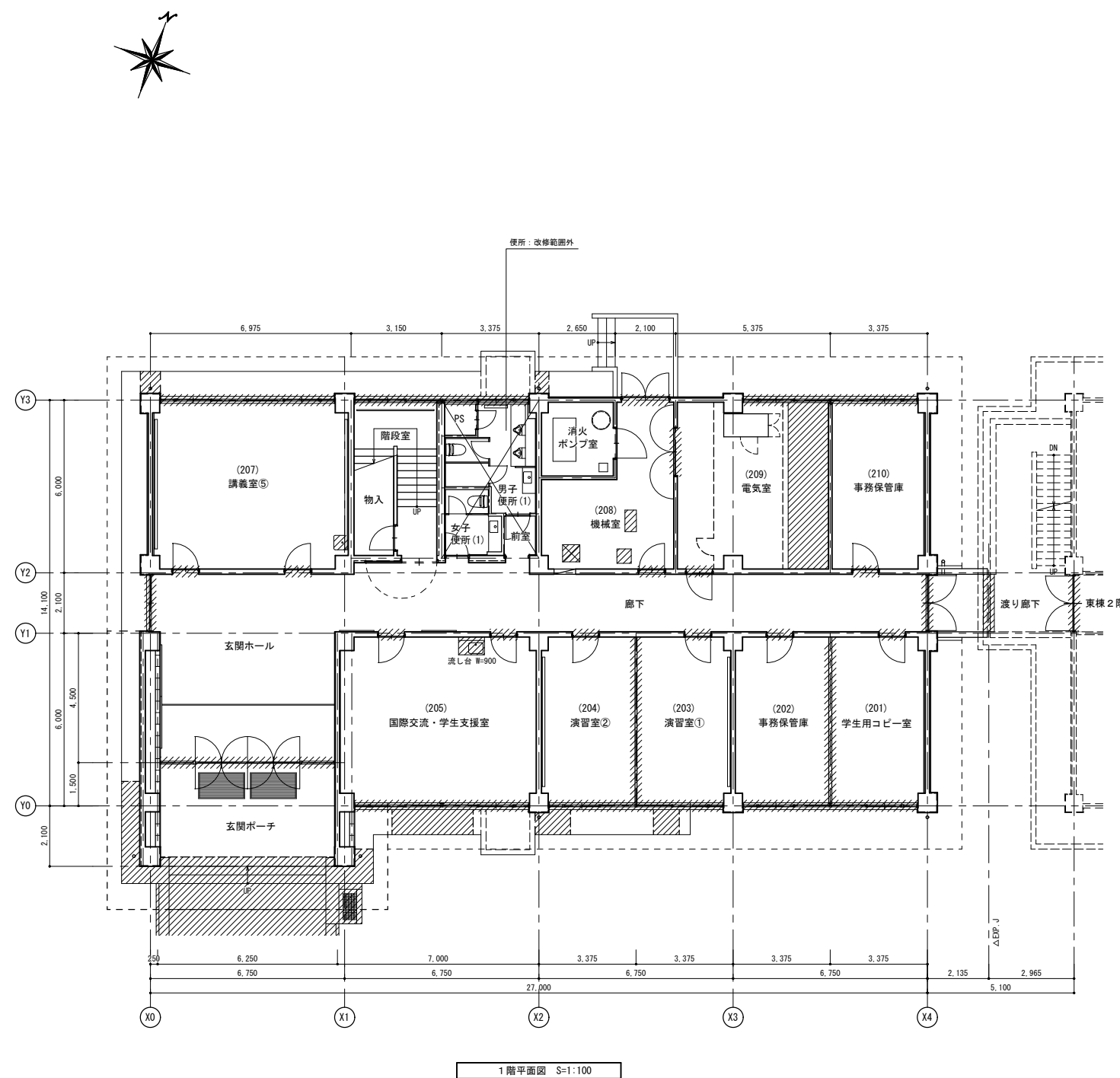
縮尺

A1:1/100

A3:1/200

改修前

改修後



凡 例
：撤去部分を示す。

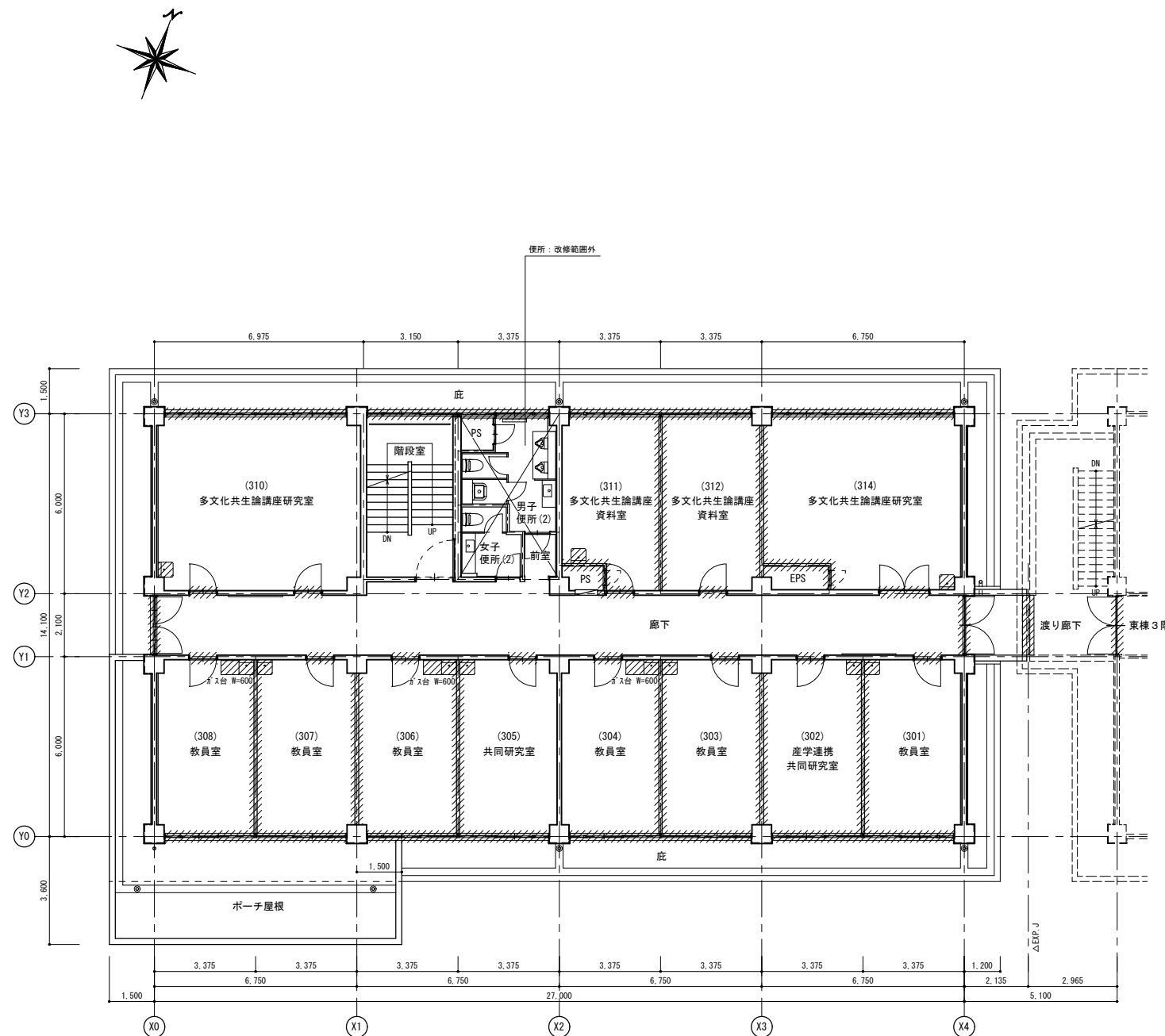
縮尺

A1:1/100

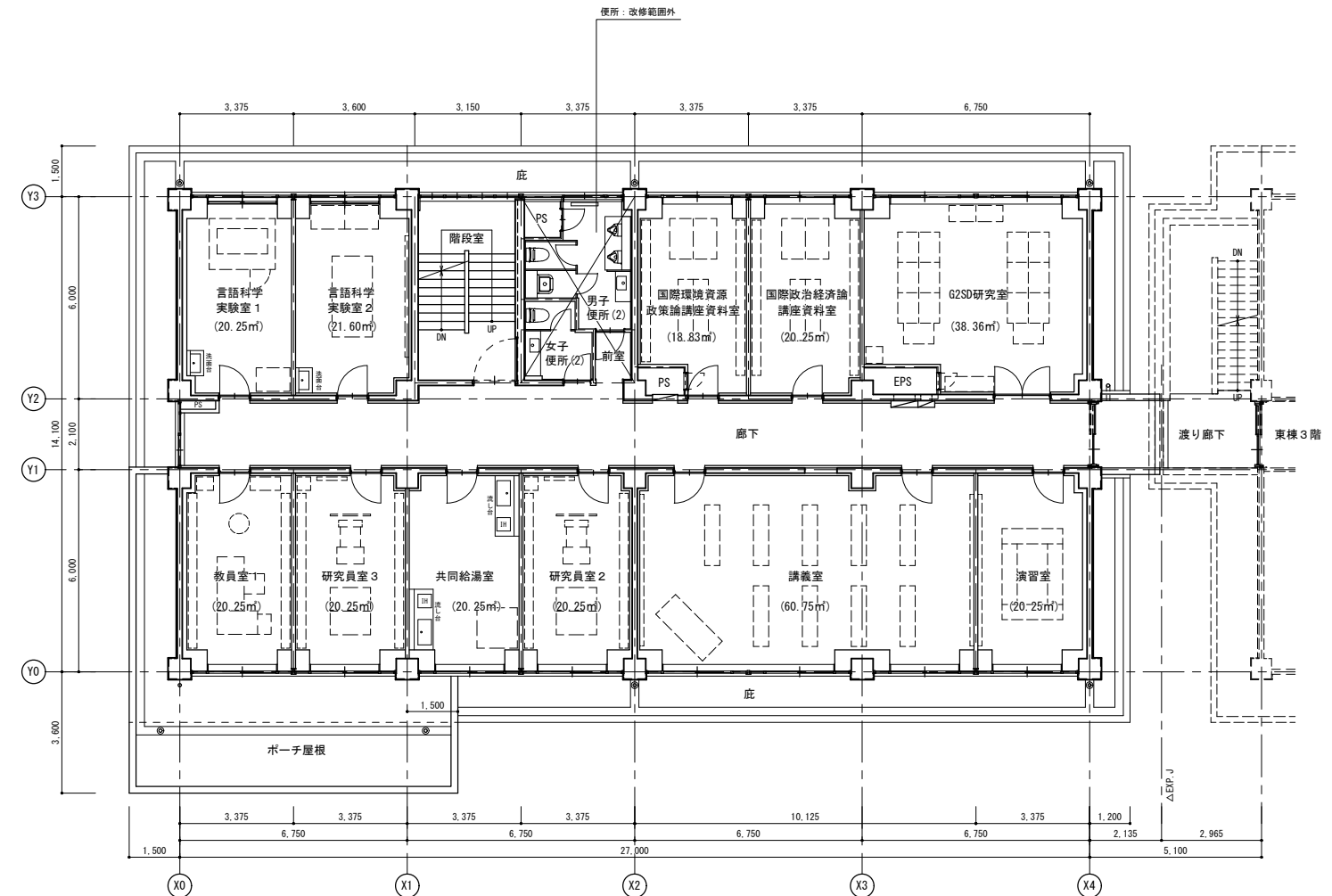
A3:1/200

改修前

改修後



凡 例
：撤去部分を示す。



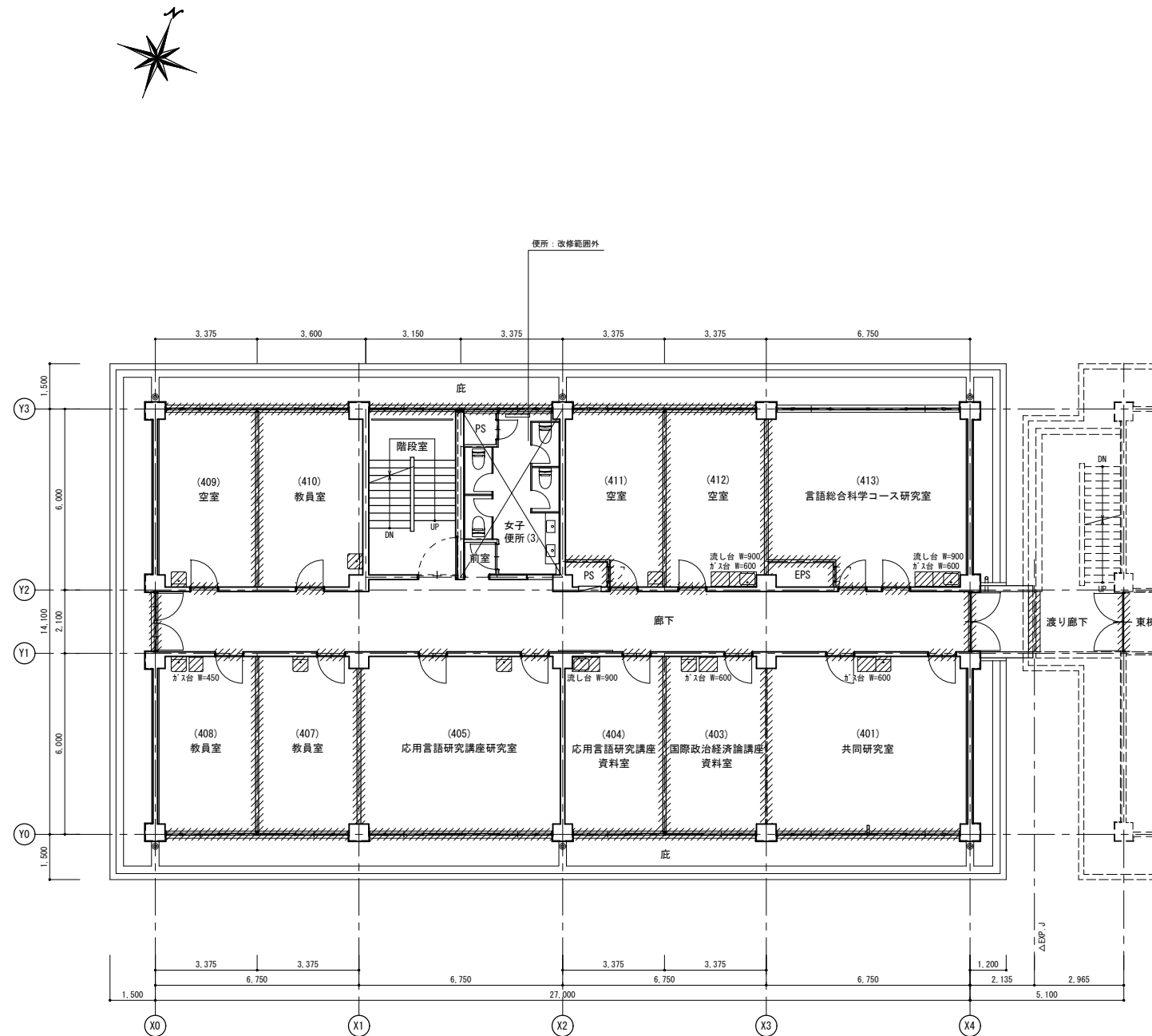
縮尺

A1:1/100

A3:1/200

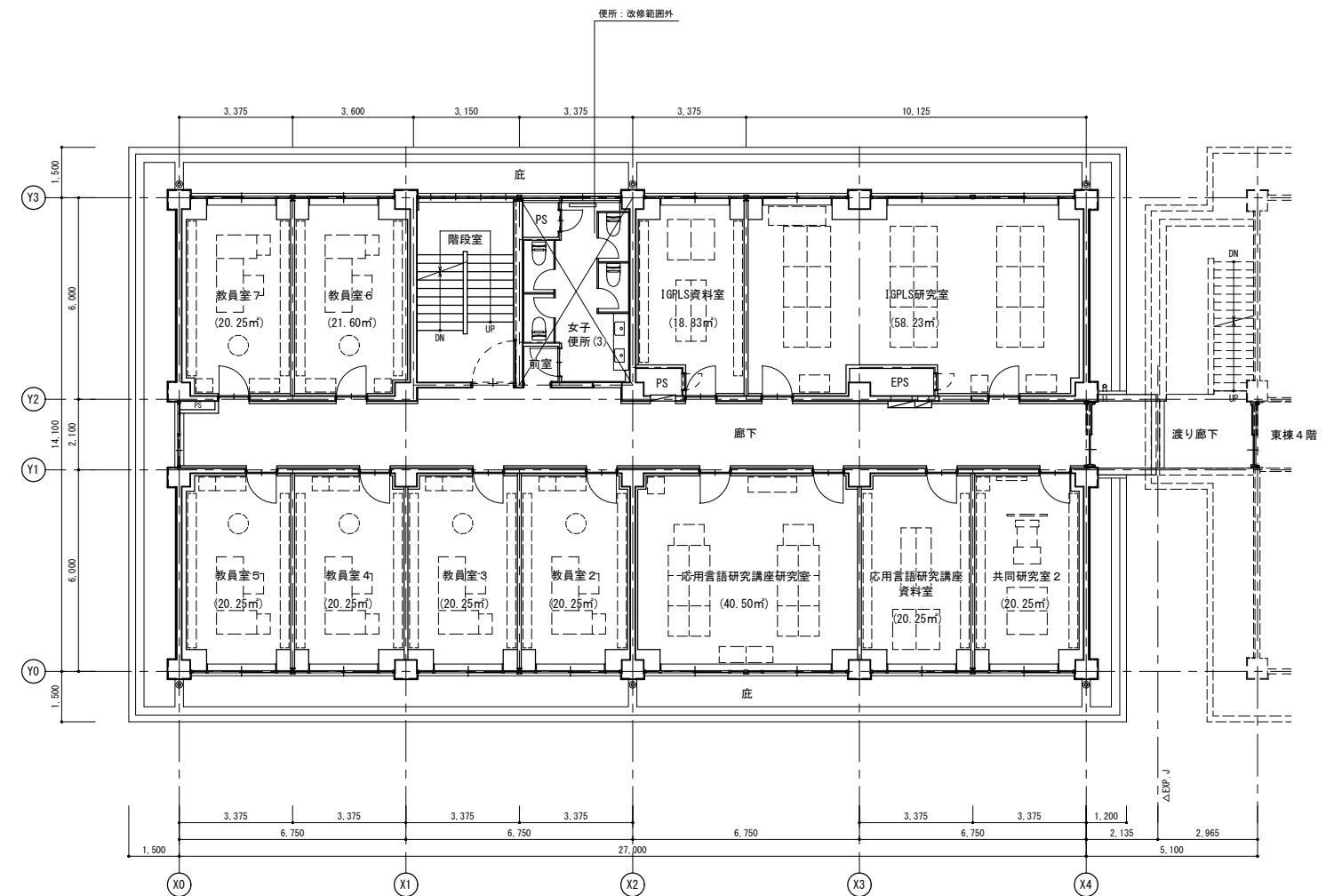
改修前

改修後



3 階平面図 S=1:100

凡 例
：撤去部分を示す。



3 階平面図 S=1:100

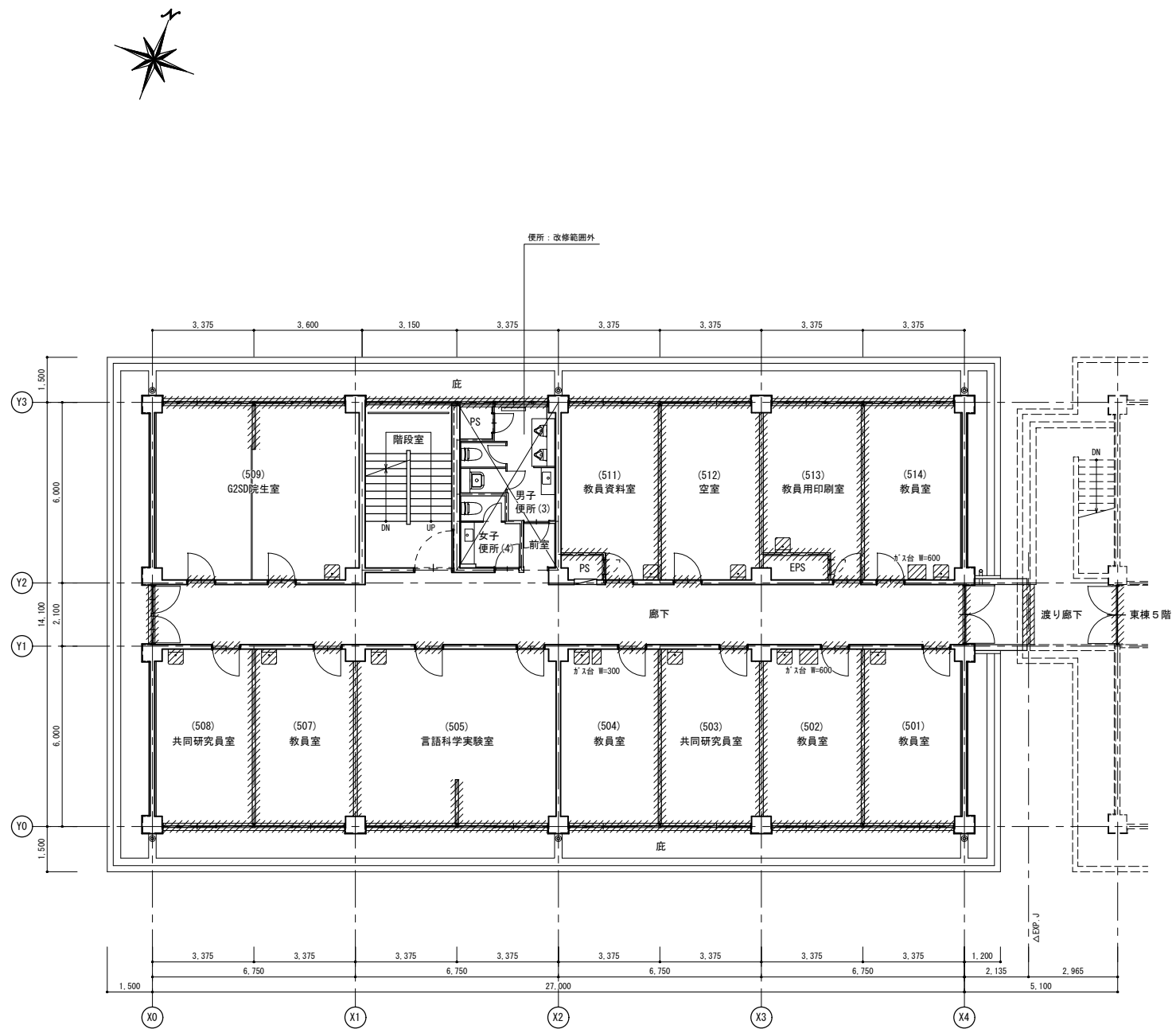
縮尺

A1:1/100

A3:1/200

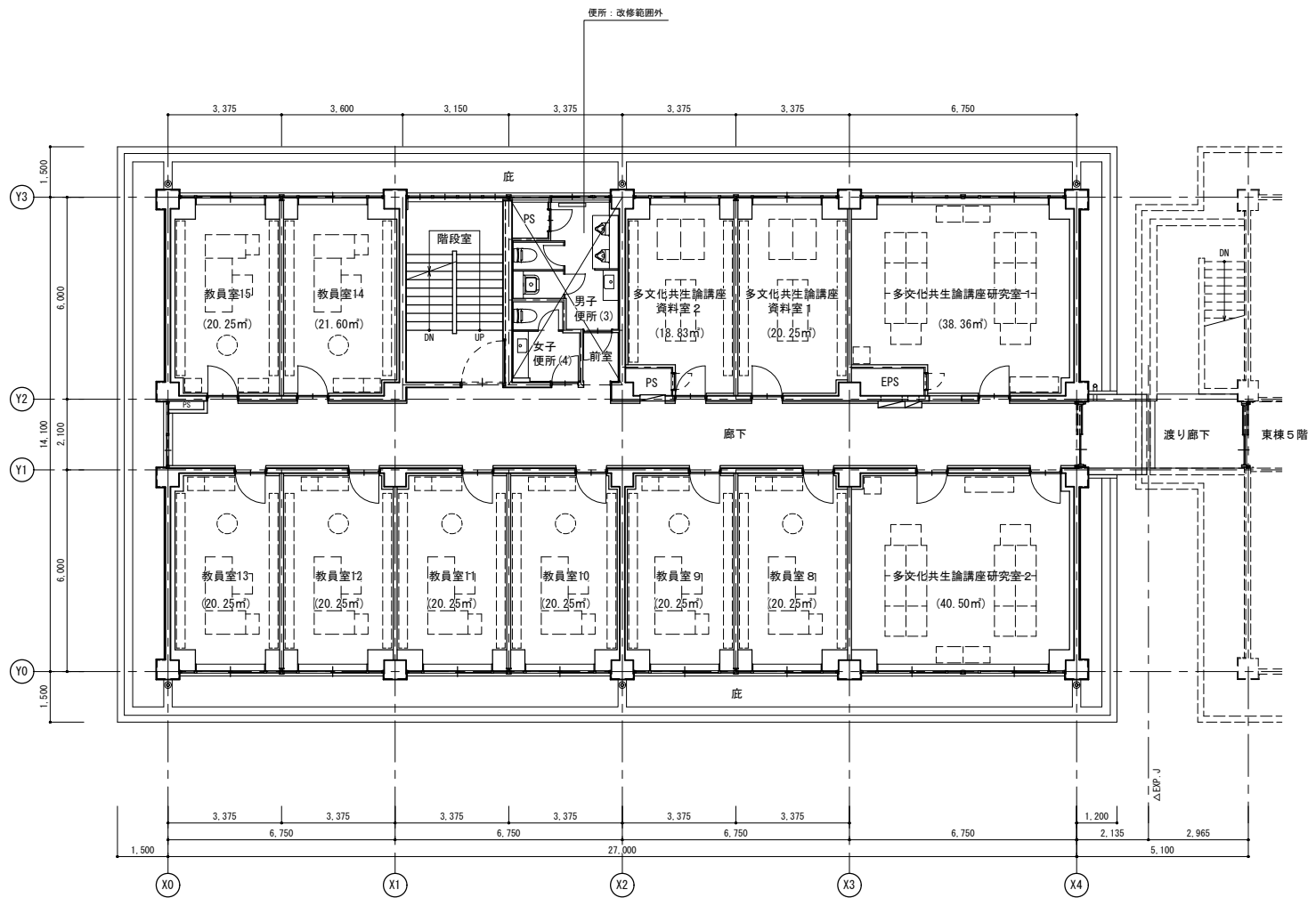
改修前

改修後



4 階平面図 S=1:100

凡 例
：撤去部分を示す。



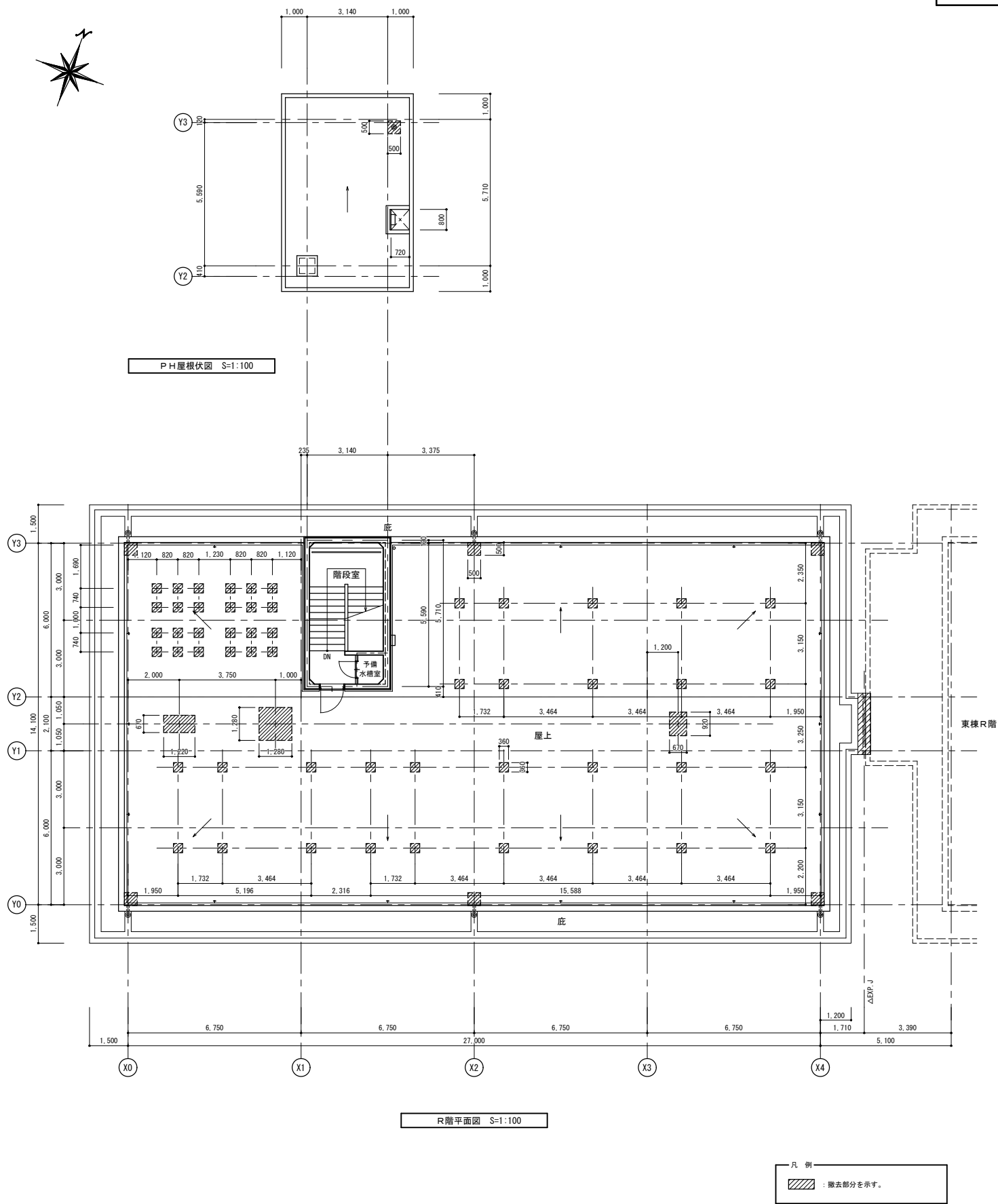
4 階平面図 S=1:100

縮尺

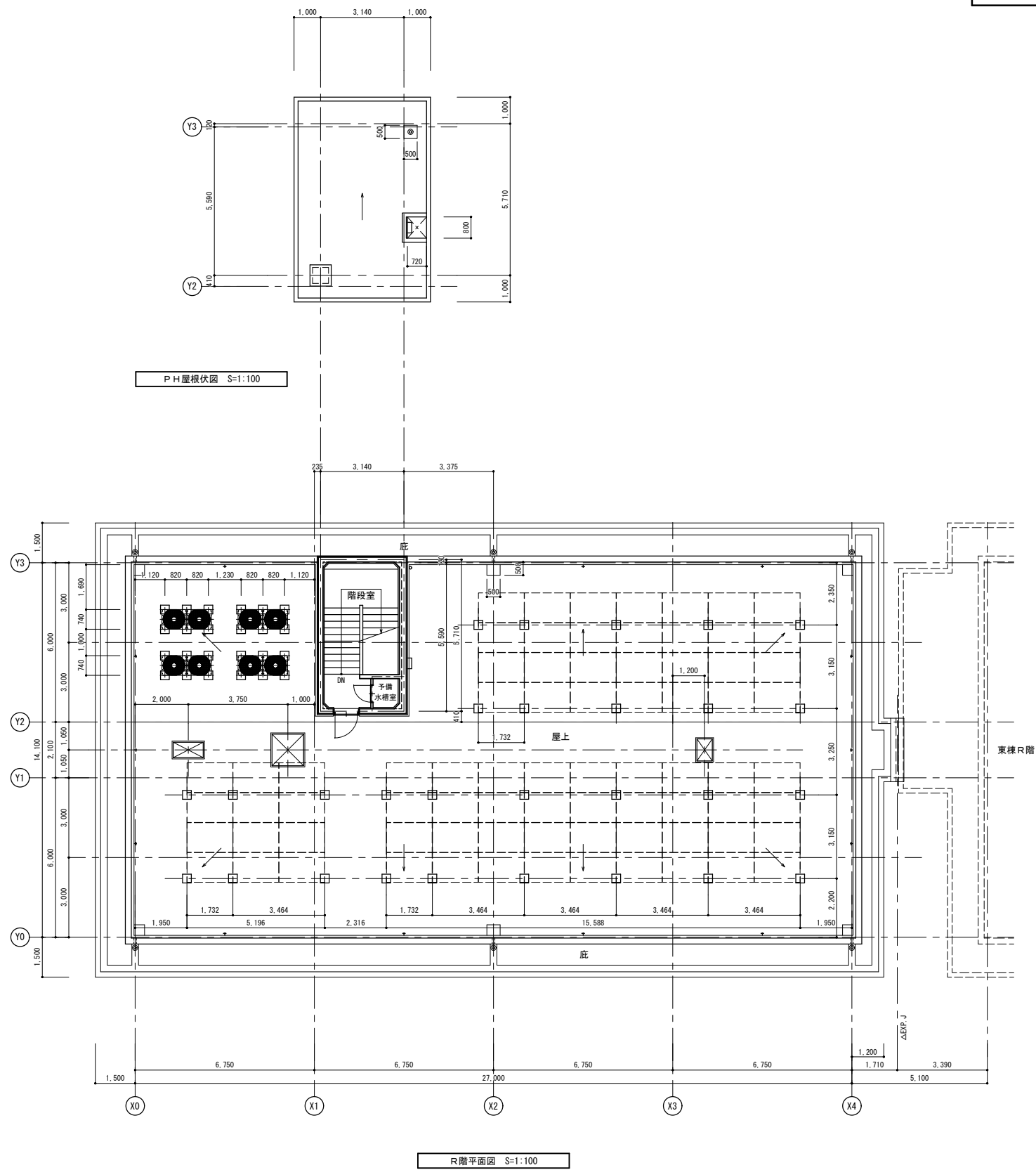
A1:1/100

A3:1/200

改修前



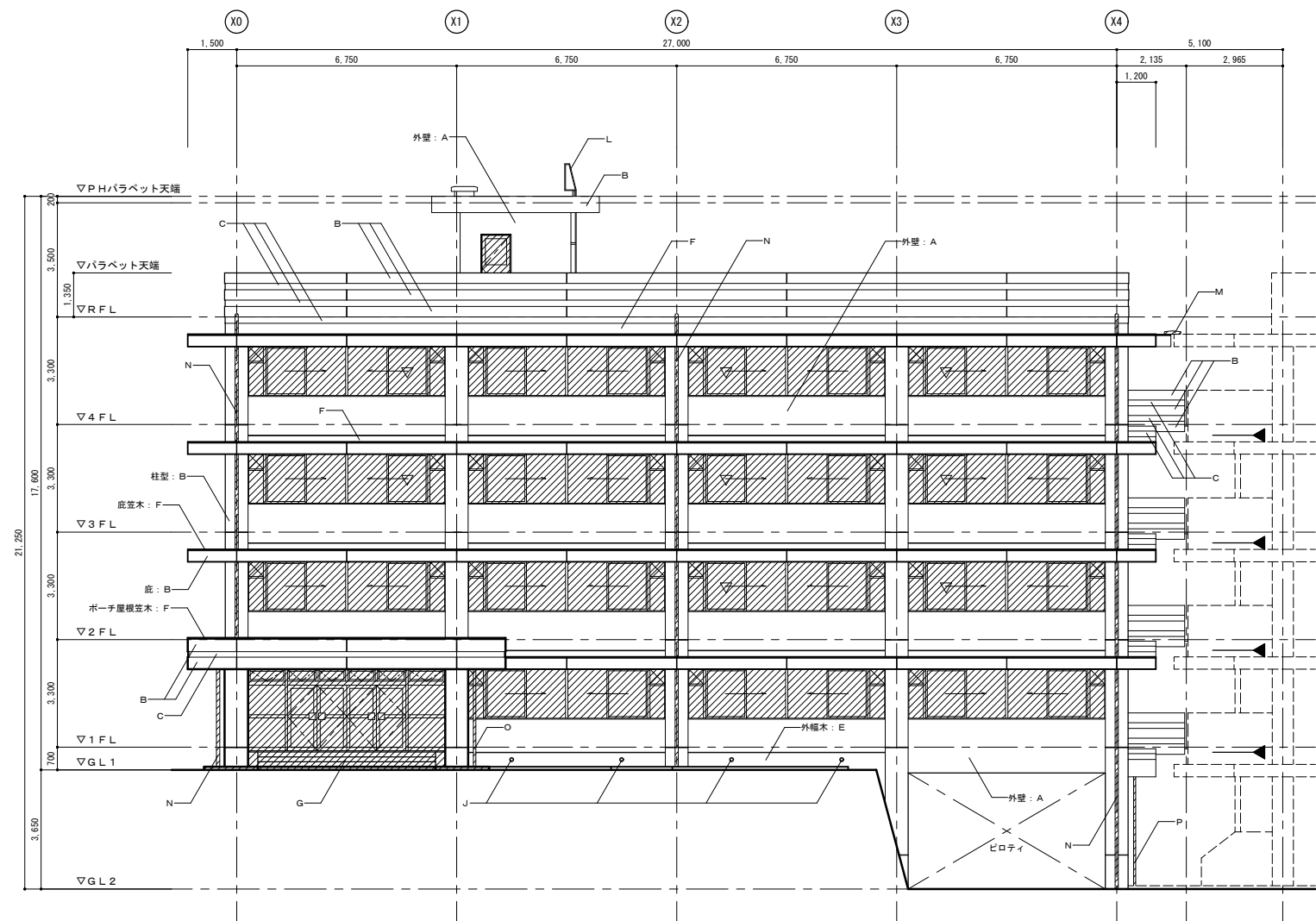
改修後



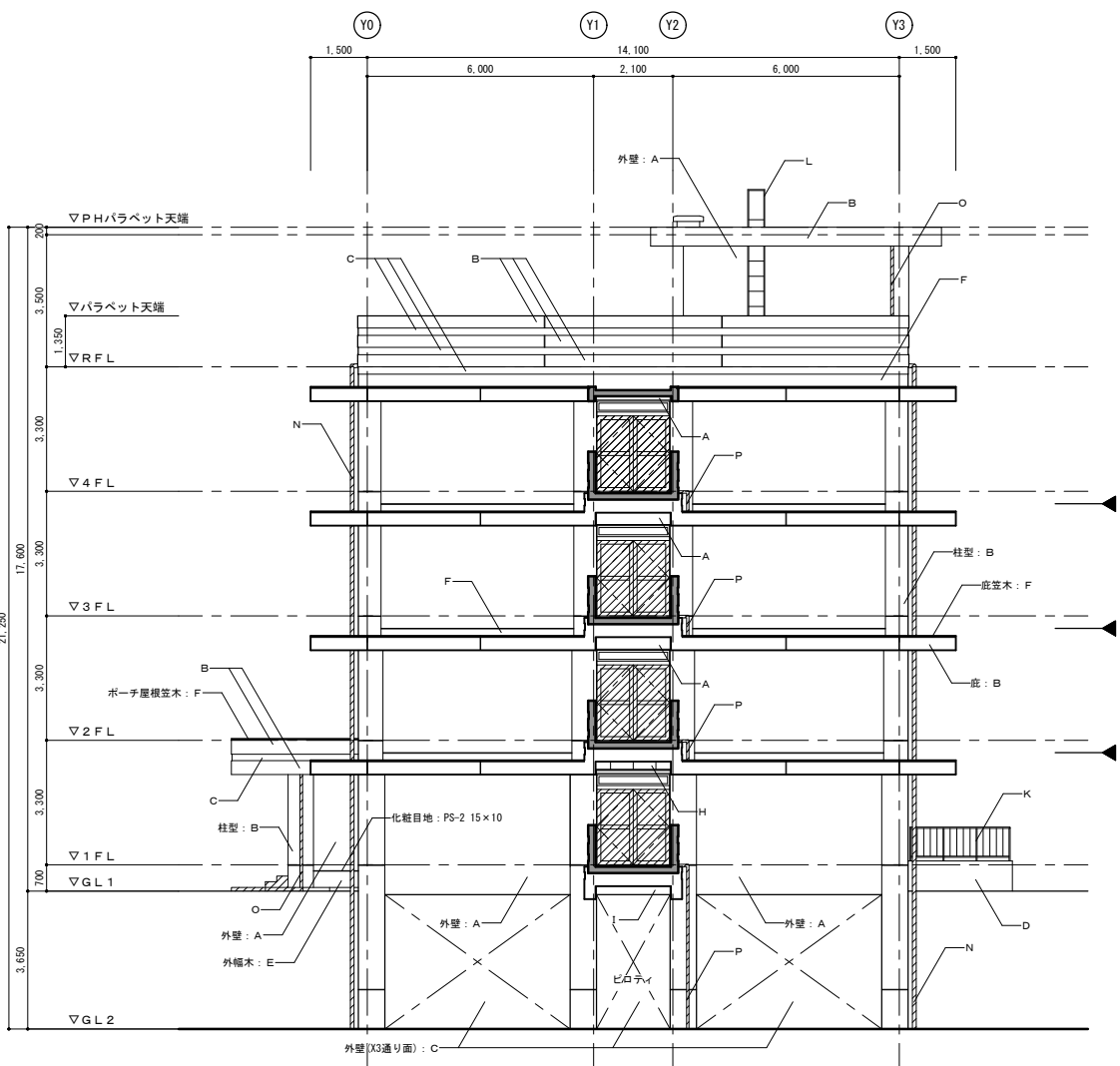
縮尺

A1:1/100

A3:1/200



南立面図 S=1:100



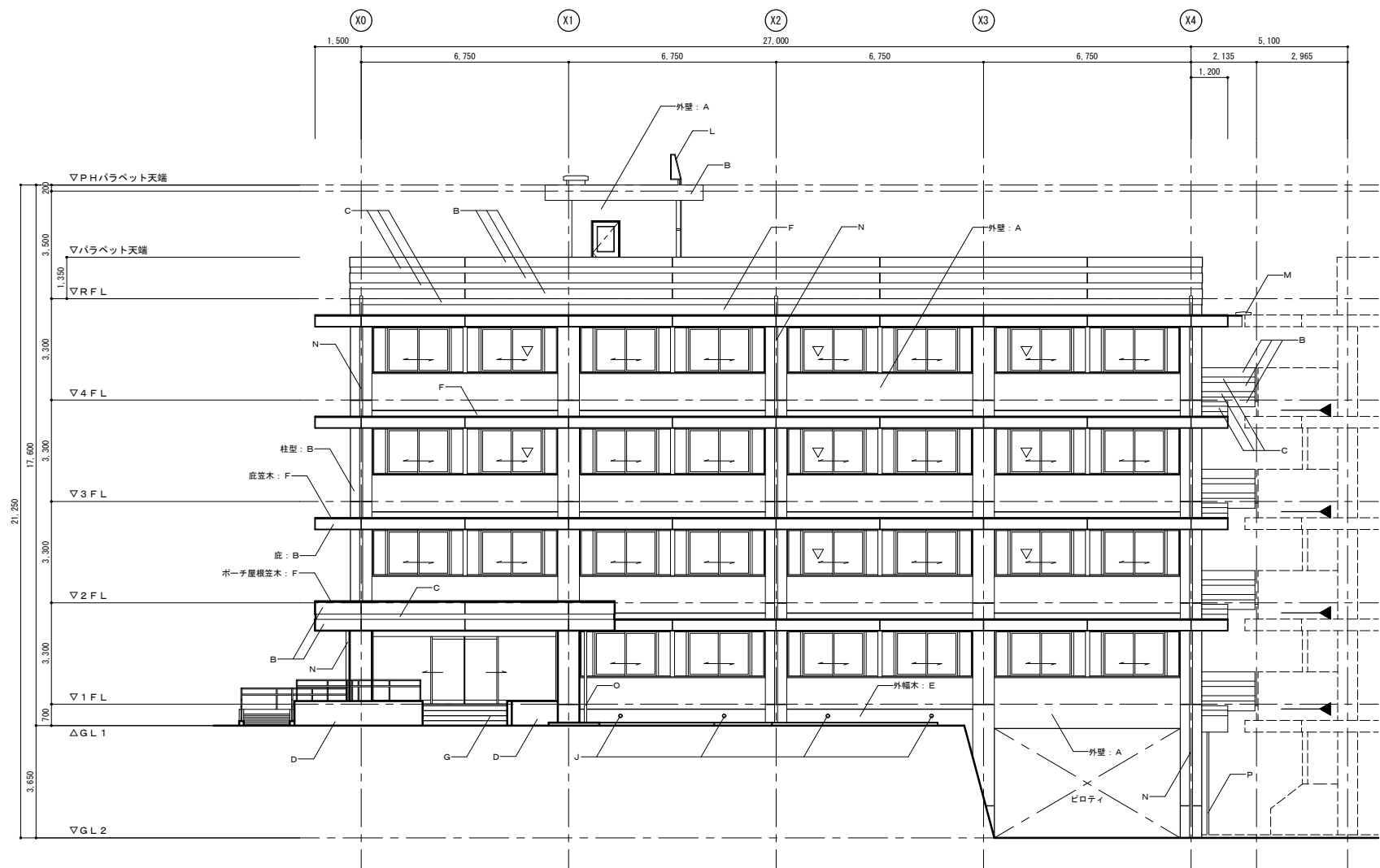
東立面図 S=1:100

凡 例
：撤去部分を示す。

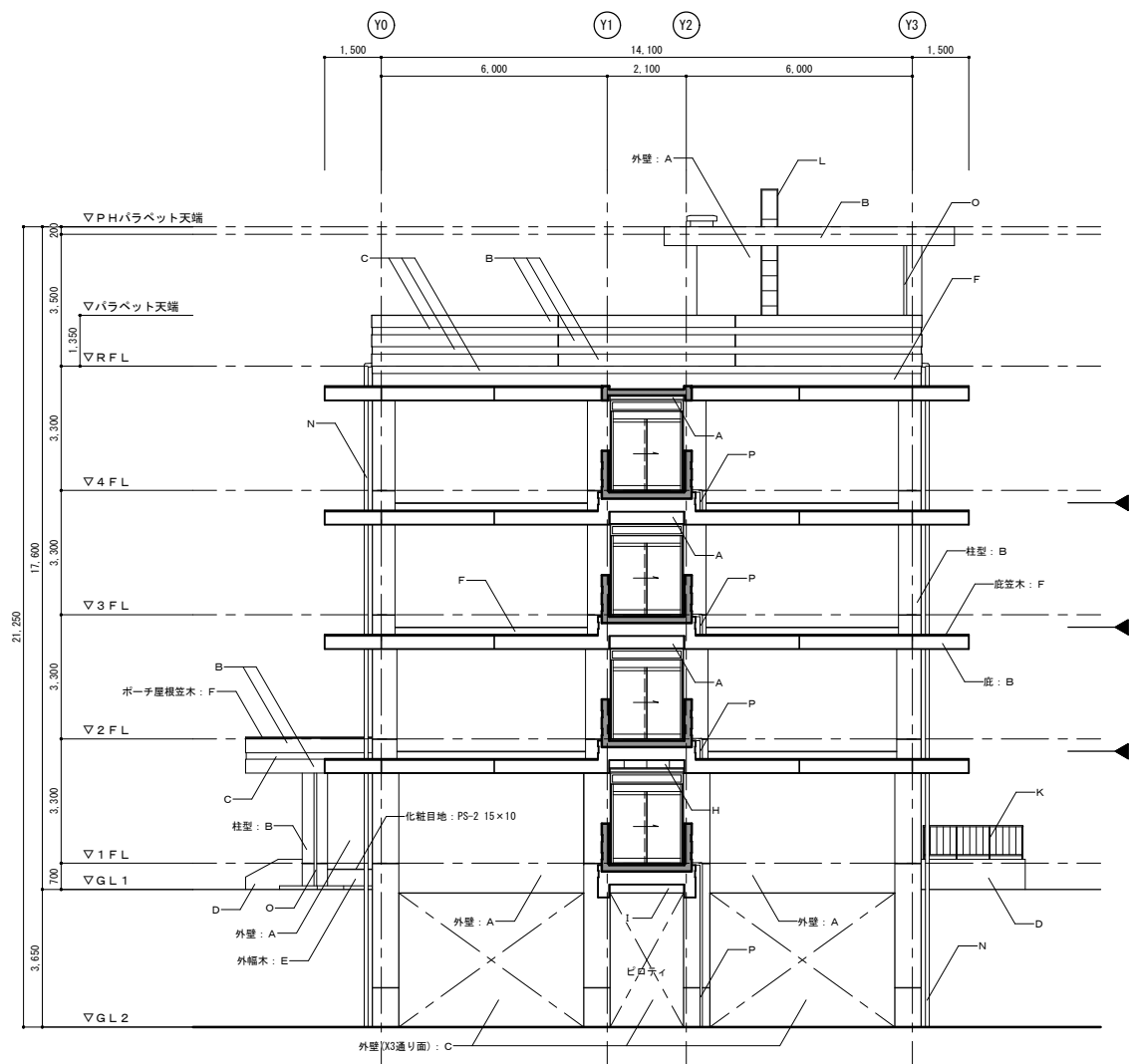
仕 上 凡 例	改 修 前			
	A	50二丁掛タイル張り (45×95)	(存置：ひび割れ等補修)	J 床下換気口 100φ (存置)
	B	コンクリート打放し アクリル樹脂系カラークリヤー塗り	(存置：ひび割れ等補修)	K 鋼製手摺 SOP (手摺：34φ 柱：27.2φ 手摺子：16φ@200) (存置)
	C	コンクリート打放し はつり仕上	(存置：ひび割れ等補修)	L SUS製タラップ 25φ (存置)
	D	コンクリート打放し	(存置：ひび割れ等補修)	M SUS製エキスパンションジョイントカバー(屋根) (撤去)
	E	モルタル金ゴテ仕上	(存置)	N 壁樋：配管用銅管 100φ SOP (撤去：受け金物共)
	F	防水モルタル塗り	(存置)	O 壁樋：配管用銅管 75φ SOP (撤去：受け金物共)
	G	100角磁器質タイル貼り	(撤去：下地モルタル共)	P 壁樋：配管用銅管 65φ SOP (撤去：受け金物共)
	H	石綿セメント板φ5 外装薄付仕上塗材	(存置)	化粧目地 (タイル・モルタル仕上見切り)：PS-2 15×10 (撤去)
	I	コンクリート打放し EP	(存置：ひび割れ等補修)	▽ 代替出入口

縮尺

A1:1/100
A3:1/200



南立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100

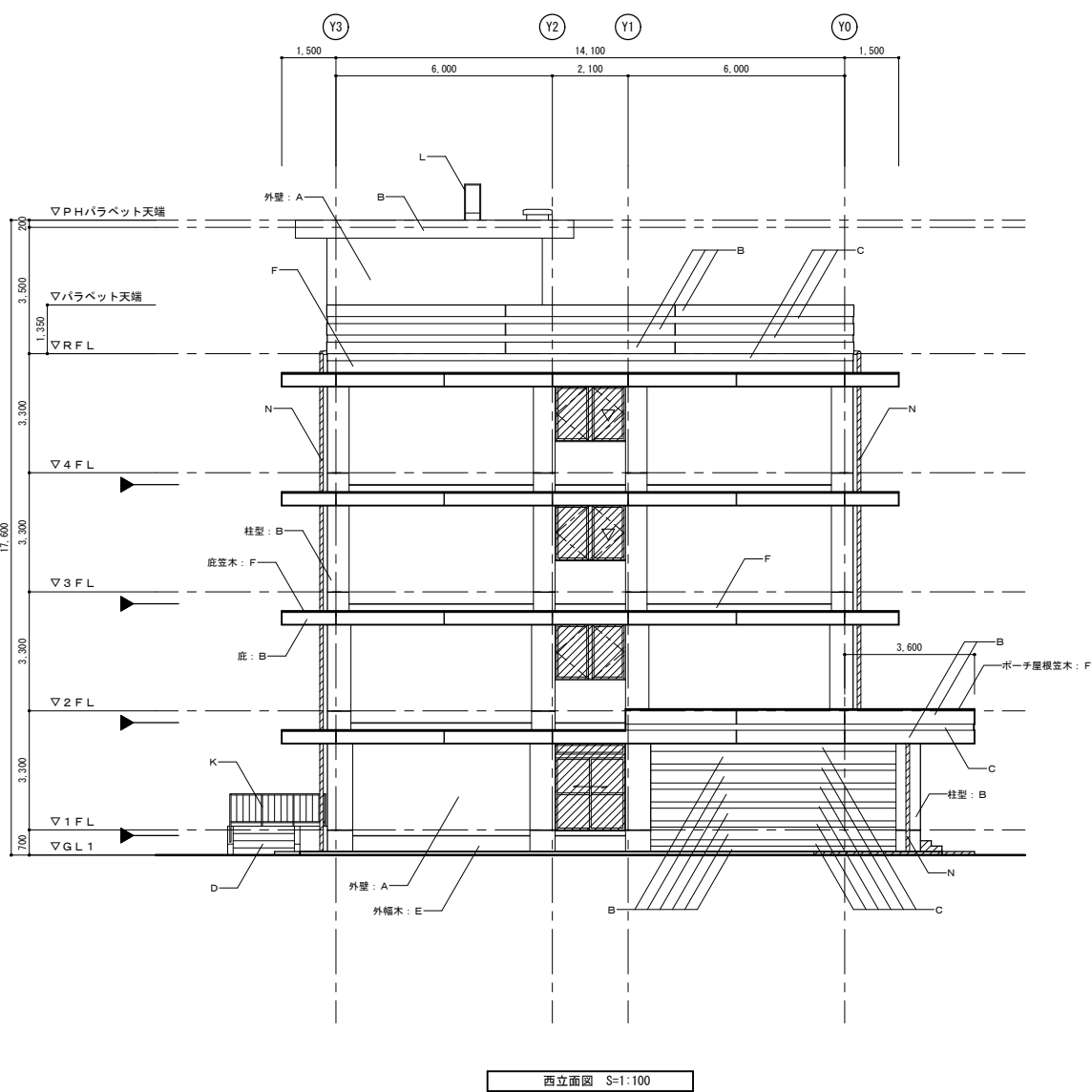
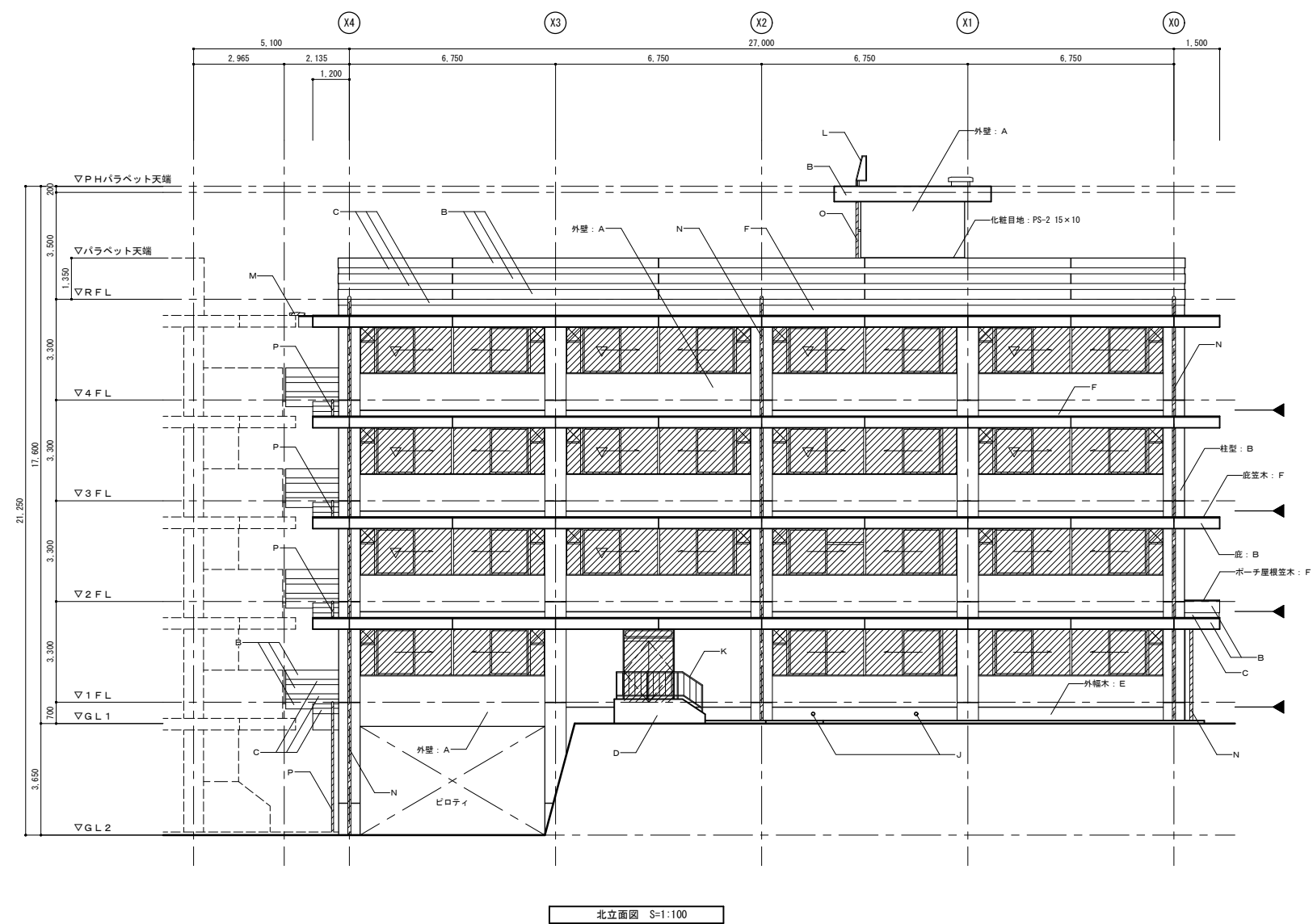
凡例
■ : 建具新設部分を示す。

仕 上 凡 例	改 修 後					
	A	既存タイル面：水洗い工法	(新設)	J	床下換気口 100φ	(既存のまま)
	B	既存コンクリート打放し面：水洗い工法 下地調整の上 複層仕上塗材 E	(新設)	K	鋼製手摺：下地調整の上 DP塗替え	(新設)
	C	コンクリート打放し はつり仕上	(既存のまま)	L	SUS製タラップ 25φ	(既存のまま)
	D	複層仕上塗材 E	(新設)	M	SUS製エキスパンションジョイントカバー（屋根）	(新設)
	E	既存モルタル面：水洗い工法 下地調整の上 複層仕上塗材 E	(新設)	N	壁樋：SUS鋼管 100φ	(新設：受け金物共)
	F	ウレタンゴム系塗膜防水Q2.0(X-2)	(新設)	O	壁樋：SUS鋼管 75φ	(新設：受け金物共)
	G	100角磁器質タイル貼り	(新設)	P	壁樋：SUS鋼管 65φ	(新設：受け金物共)
	H	既存ボード面：下地調整の上 外装薄塗材 E	(新設)		化粧目地（タイル・モルタル仕上見切り）：PS-2 15×10	(新設)
I	既存コンクリート打放し面：下地調整の上 EP塗替え	(新設)		代替進入口 表示マーク	(新設)	

縮尺

A1:1/100

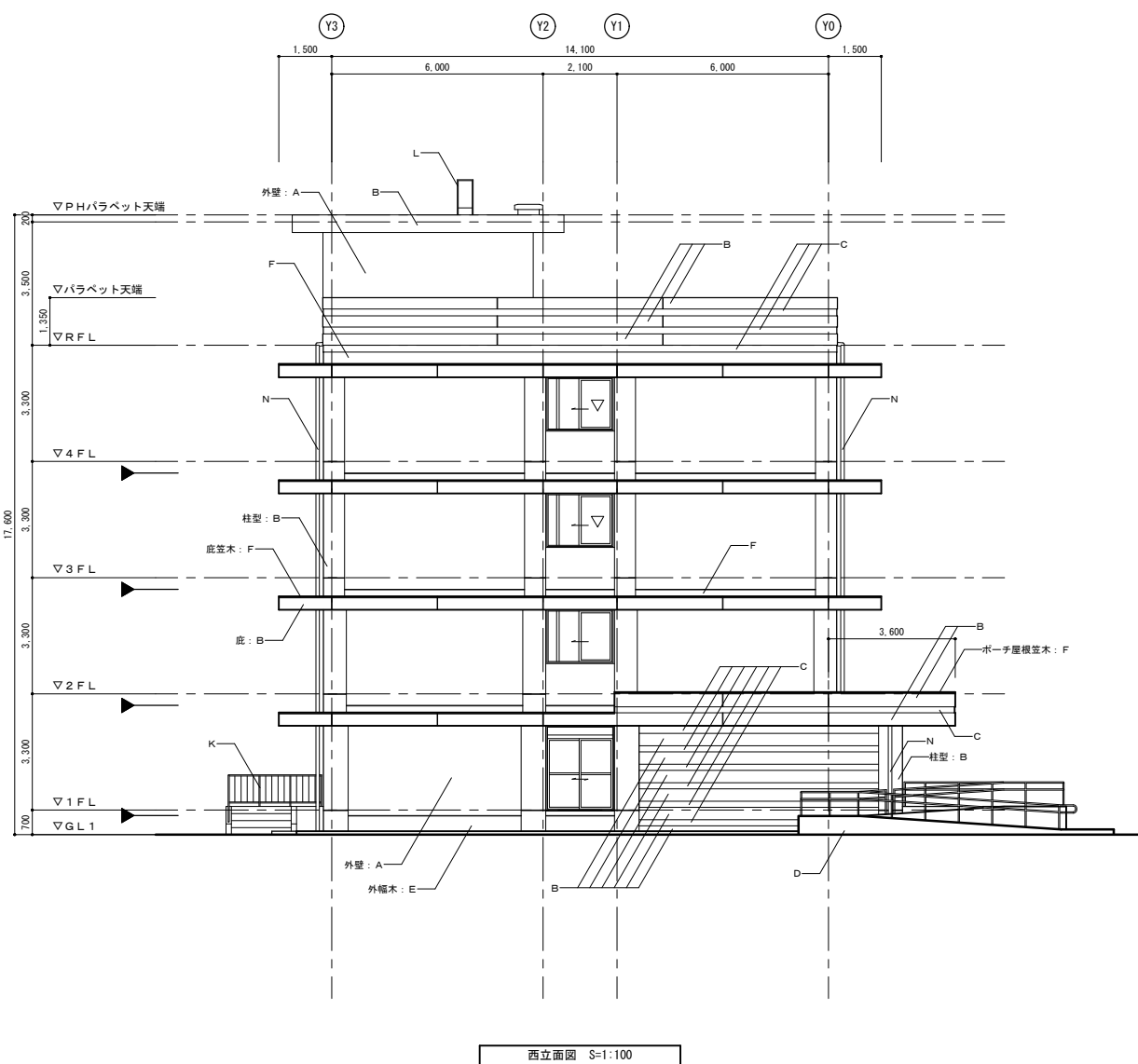
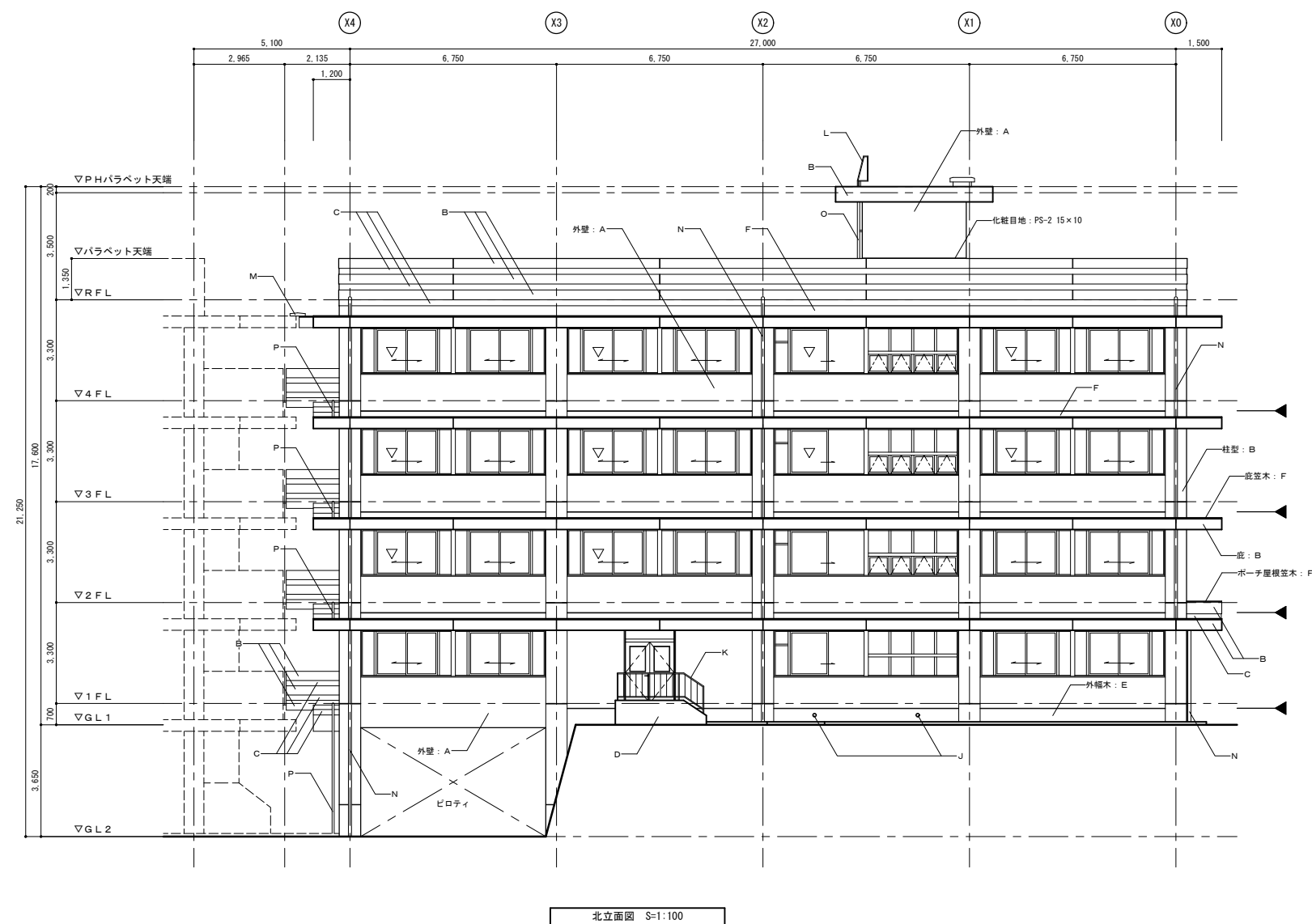
A3:1/200



仕上凡例	改修前			
	A	50二丁掛タイル張り (45×95)	〈存置：ひび割れ等補修〉	J 床下換気口 100φ (存置)
	B	コンクリート打放し アクリル樹脂系カラーリヤー塗り	〈存置：ひび割れ等補修〉	K 鋼製手摺 SOP (手摺：34φ 柱：27.2φ 手摺子：16φ@200) (存置)
	C	コンクリート打放し はつり仕上	〈存置：ひび割れ等補修〉	L SUS製タラップ 25φ (存置)
	D	コンクリート打放し	〈存置：ひび割れ等補修〉	M SUS製エキスパンションジョイントカバー (屋根) (撤去)
	E	モルタル金ゴテ仕上	〈存置〉	N 壁樋：配管用銅管 100φ SOP (撤去：受け金物共)
	F	防水モルタル塗り	〈存置〉	O 壁樋：配管用銅管 75φ SOP (撤去：受け金物共)
	G	100角磁器質タイル貼り	〈撤去：下地モルタル共〉	P 壁樋：配管用銅管 65φ SOP (撤去：受け金物共)
	H	石綿セメント板Q5 外装薄付仕上塗材	〈存置〉	化粧目地 (タイル・モルタル仕上見切り)：PS-2 15×10 (撤去)
	I	コンクリート打放し EP	〈存置：ひび割れ等補修〉	▽ 代替進入口

縮尺

A1:1/100
A3:1/200



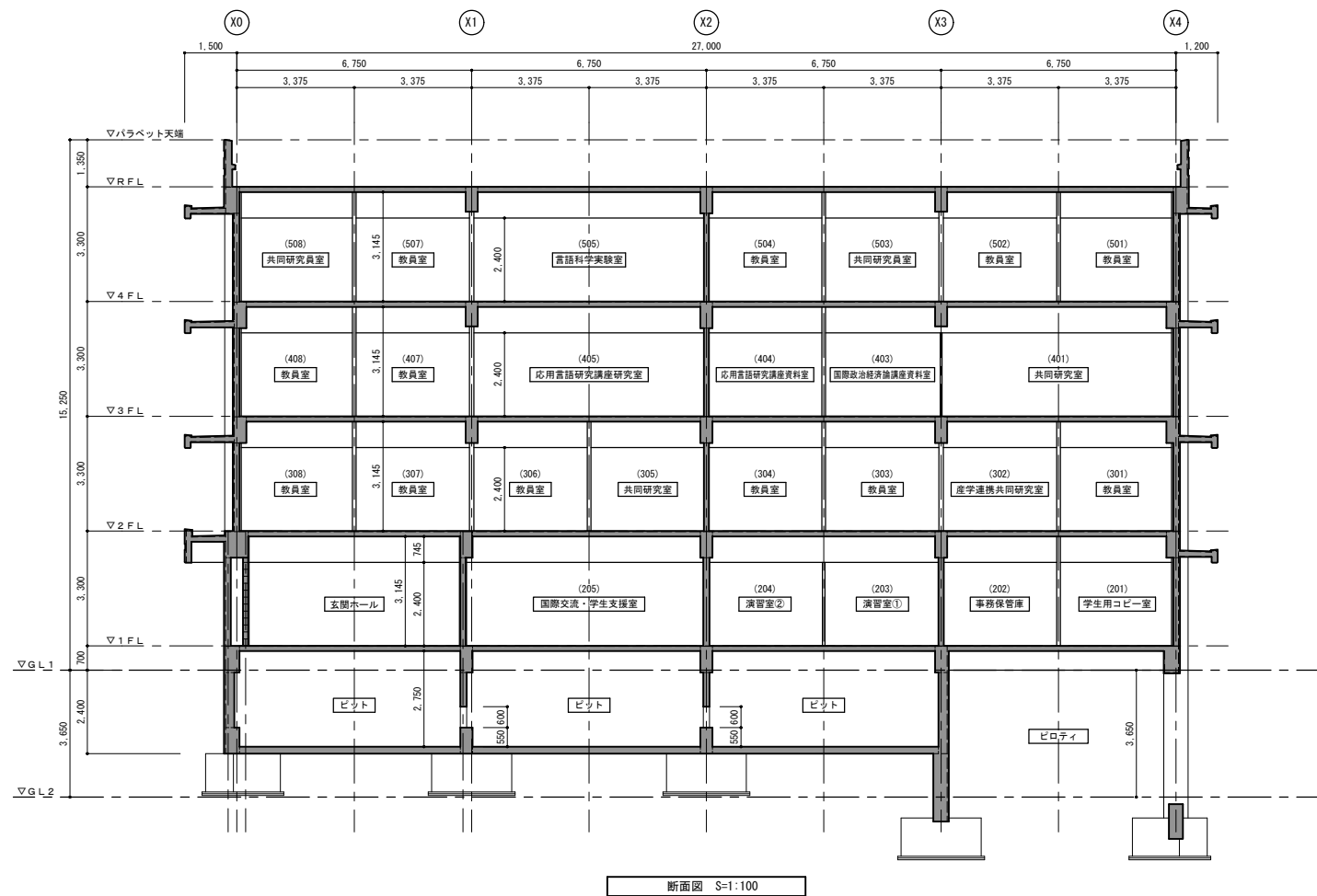
凡 例
：建具新設部分を示す。

仕 上 凡 例	改 修 後			
	A	既存タイル面：水洗い工法 (新設)	J	床下換気口 100φ (既存のまま)
	B	既存コンクリート打放し面：水洗い工法 下地調整の上 複層仕上塗材 E (新設)	K	鋼製手摺：下地調整の上 DP 塗替え (新設)
	C	コンクリート打放し はつり仕上 (既存のまま)	L	SUS製タラップ 25φ (既存のまま)
	D	複層仕上塗材 E (新設)	M	SUS製エキスパンションジョイントカバー(屋根) (新設)
	E	既存モルタル面：水洗い工法 下地調整の上 複層仕上塗材 E (新設)	N	壁樋：SUS鋼管 100φ (新設：受け金物共)
	F	ウレタンゴム系塗膜防水Q2.0 (X-2) (新設)	O	壁樋：SUS鋼管 75φ (新設：受け金物共)
	G	100角磁器質タイル貼り (新設)	P	壁樋：SUS鋼管 65φ (新設：受け金物共)
	H	既存ボード面：下地調整の上 外装薄塗材 E (新設)	▶	化粧目地 (タイル・モルタル仕上見切り)：PS-2 15×10 (新設)
	I	既存コンクリート打放し面：下地調整の上 EP 塗替え (新設)	▽	代替出入口 表示マーク (新設)

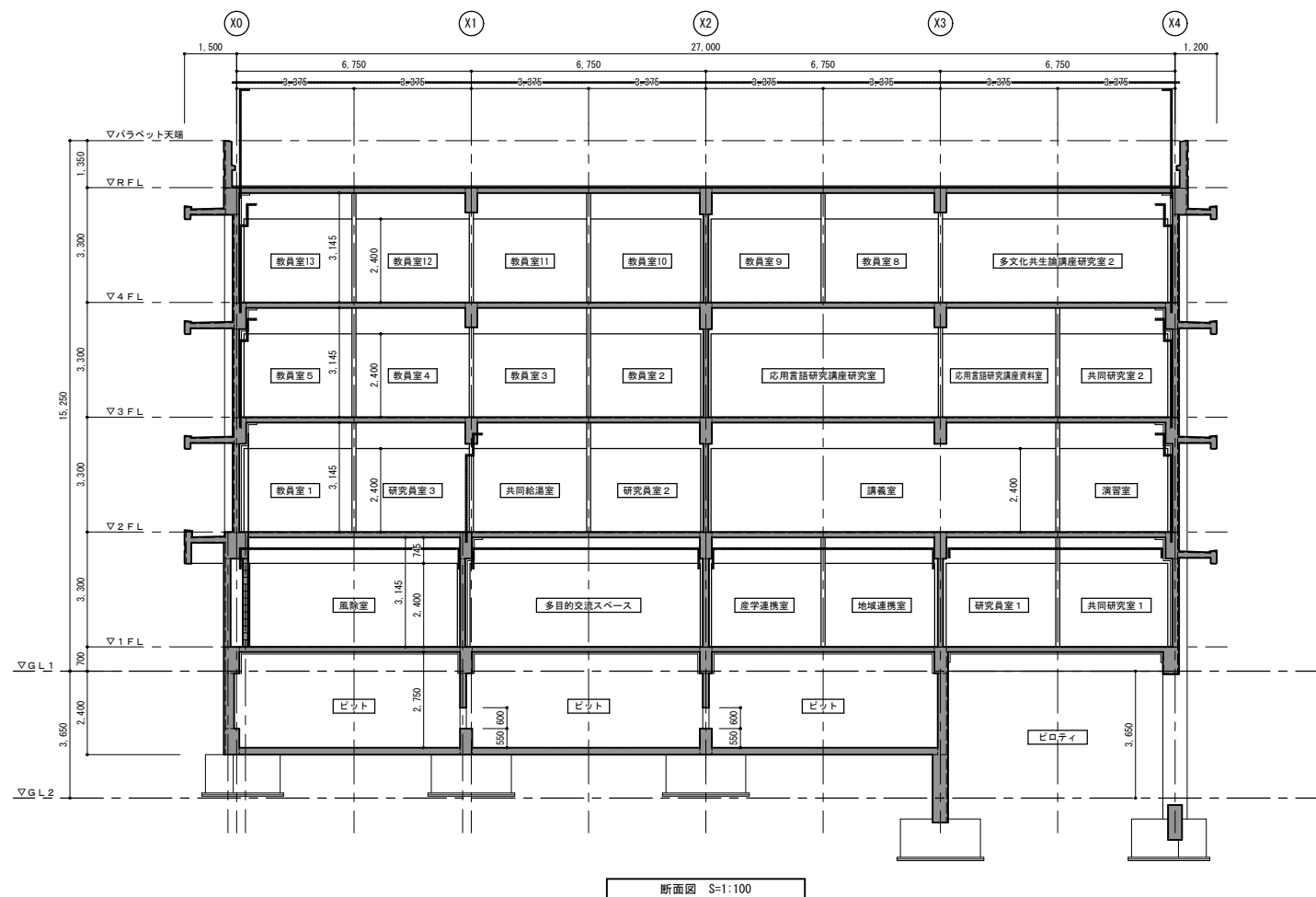
縮尺

A1:1/100
A3:1/200

改修前



改修後



縮尺

A1:1/100

A3:1/200